

2019(令和元)年度 校友会事業報告

I. 主要会議

1. 令和元年5月31日(金)理事会、評議員会同時開催
2. 令和元年10月5日(土)校友会総会
横国Day(ホムシグデー)に開催。
3. 令和元年10月28日(月)理事会、評議員会同時開催
4. 令和2年3月3日(火)～13日(金)理事会、評議員会メール審議
5. 専門委員会の開催状況
 - ①広報委員会(2回)
 - ②企画委員会(1回)
 - ③総務・財務委員会(1回)
 - ④学生幹事会(随時)

II. 主要事業実績

1. 入学時関連事業

(1) 新入生歓迎会

4月17日(水)第1食堂において学生幹事会の企画による新入生歓迎会を開催。

新入生及び学長、校友会会長、学部長、各同窓会長等90名(内、新入生68名)が参加

(2) 横浜港ナイトクルーズ【同窓会との合同イベント】

5月23(月)学生、留学生、保護者、大学関係者等を含め160名が参加。横浜港の夜景と同地区の歴史についての詳しい説明もあり大好評。

(3) 新入会員用ノベルティーを作成

会員証交付と同時にノベルティー(ロゴ入りバインダー)を贈呈。

(4) 令和2年度入学生向け「校友会・同窓会のご案内」を作成、送付。

(5) 在学生、令和2年度新入生の保護者に学事歴入りカレンダーを5,000部作成、送付。

(6) 1年生向けキャリア教育「まなび座」を開講。

2. 広報活動事業

(1) 校友会会報誌「ALL YNU」第5号の発行

①平成31年度会費納入者の保護者あてに会費納入の礼状を添えて郵送。

②2年～4年次生会費納入者の保護者あてに郵送。

③その他 各同窓会、学内の教職員、卒業生の保護者に配付 合計30,000部

3. 学生活動の支援事業

(1) キャリア教育支援

① 2年次生以上 秋学期「グローバル化と日本人」

全学部対象教養科目、市村教授担当

狙い：異文化理解とコミュニケーション力養成

② 2年次生以上 秋学期「グローバルビジネス実践論」

専門科目：経営・経済学部連携、校友会支援講義 全学部受講対象科目

狙い：企業実践で役立つ体験に裏付けされた知見を学び、英語によるコミュニケーション力のみならず、「グローバルに活躍できる人材養成」を目的に、海外駐在経験者の講師による。関仁非常勤講師をコーディネータに、講師はJAL、富士フィルム、日産、三菱信託銀行、日本長期信用銀行、味の素、NTT、三井物産、日本経済新聞社、日立製作所等の海外実務経験者

(2) 地域課題実習支援

学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かうプロジェクトを支援。
18プロジェクトに対し各20,000円を援助。

(3) 学部との共催講演会

① 教育学部

講 師：外山 美樹氏（筑波大学人間系准教授）

演 題：教員を目指すとき、なった時に生かせる教育心理学

実施日：令和元年10月4日（金）、参加者：235名

② 経済学部（経済学会と共催）

講 師：佐分利 応貴氏（(独)経済産業研究所国際・広報ディレクター）

演 題：「誰でもできる“社会の病気の治し方”講座」

実施日：令和元年11月7日（木）、参加者：48名

③ 経営学部（経営学会と共催）

講 師：宮田 芳文氏（本学卒業生、元、資産管理サービス信託銀行（株）副社長）

演 題：「君たちに伝えたい、生命保険事業の変遷とその存在意義、そして学んだ大切なこと」

実施日：令和元年11月28日（木）、参加者：252名

④ 理工学部

講 師：国中 均氏（宇宙航空研究開発機構 理事、宇宙科学研究所 所長）

演 題：「イオンエンジン～はやぶさ／はやぶさ2 小惑星探査から深宇宙探査船団へ～」

実施日：令和元年11月25日（月）、参加者：141名

⑤ 都市科学部

講 師：藪内 佐斗司氏（彫刻家、東京芸術大学副学長）

演 題：「伝世古でんせいこ 古きものと新しきもの」

実施日：令和元年12月24日（火）、参加者：252名

(4) 国際交流事業支援

① 海外教育交流活動支援（新規事業）

ダナン大学で実施した集中講義に派遣した6名の学生に渡航費を支援。

② インターナショナルウィーク支援

留学経験者との交流。

③ 海外インターンシップ支援（新規事業）

令和2年3月にベトナム等への派遣を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業を中止した。

④ 派遣留学生支援（新規事業）

海外留学する学生の不在時の家財保管費用であったが希望者なし。

⑤ 異文化体験プロジェクト（新規事業）

派遣留学オリエンテーションとして異文化理解トレーニングを実施。

一部事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止した。

(5) スポーツ支援プロジェクト

① 学生団体表彰（新規事業）

平成30年度に顕著な成績を収めたスポーツ団体等7団体に対し、校友会会長から各部に副賞（活動奨励費）100,000円を贈呈。

硬式野球部、準硬式野球部、水泳部、陸上競技部、モダンダンス部、スポーツチャンバラ翔剣会、モダンジャズ研究会

② スポーツ関連設備等整備（新規事業）

経年劣化したトレーニングルーム内の筋力トレーニング機器の更新、新設した人工芝グラウンド用のライン圧着機、巻取機等を整備した。

③ 部活動激励会

4月26日（金）第一食堂（れんが館）において学長主催の課外活動団体激励会を開催。当日の参加者は約100名。上記学生団体表彰を行った。

(6) アプリコンテスト（第6回YAC）について

学生が開発したアプリを審査し優勝1チーム、準優勝2チームを表彰し、賞金を授与。

優勝：JapanFuse 準優勝：くいんと、Corwords

11月17日（日）実施。

(7) 就職支援活動【大学、同窓会との合同イベント】

令和2年2月1日（土）3年次生を対象に、現役OB/OGによる模擬面接会を開催。

横浜経営者の会参加企業からも面接官の派遣を受けた。

参加学生：理系 71名、文系 78名

(8) YNU横浜経営者の会連携講義（新規事業）

令和元年度秋学期から2年次生以上を対象に「経営者が語るこれからの企業戦略と若者へのメッセージ」を新規に開講した。

履修登録学生数：217名（経済学部71名、経営学部145名、理工学部1名）

(9) 学生用情報伝達モニター整備（新規事業）

第一食堂（れんが館）、第二食堂（生協）、学生センターに各2台のモニターを設置した。

学生に、大学や校友会の活動情報の提供、インターンシップ情報や企業説明会、模擬面接会等の就活情報の提供を行う。

(10) 大学祭支援

大学祭実行委員会へ支援金。

4. 全会員対象の事業

(1) 横国Day（ホームカミングデー）、校友会総会

期日：10/5（土） ①校友会総会 11:30~12:00〈出席者40名〉

②交流会 15:30~17:00〈出席者230名〉

(2) 学生・OB/OGの交流会（ヨココクツナガル）

若手社会人と現役学生との交流会を11月16日（土）に都内で開催した。

(3) 美術館・博物館キャンパスメンバーズ

年会費を支援。

(4) 観月の会

11月6日(水)第一食堂れんが館において、学長主催による外国人研究者、留学生等との交流会を開催した。

5. 大学支援事業

(1) YNU横浜経営者の会

第2回 5月29日(水)開催 〈参加企業13社〉

第3回 12月4日(水)開催 〈参加企業22社〉

(2) 寄附特集号「横浜国立大学の未来を共に創る ご寄附のお願い」の発行

部数：25,000部

送付先：企業、各同窓会、教職員に配付

(3) YNU大学基金への寄附(4,740,000円)

校友会費の対H29年度増収分の30%を大学基金に寄附。

以上